

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成21年12月10日 (2009.12.10)

【公表番号】特表2003-506669(P2003-506669A)
 【公表日】平成15年2月18日 (2003.2.18)
 【出願番号】特願2001-513801(P2001-513801)
 【国際特許分類】

G 0 1 D 5/249 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 D 5/249 J

【誤訳訂正書】

【提出日】平成21年10月22日 (2009.10.22)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

- このゲージ (1) は、一連のコード素子 (1 0 , 1 0 0) から作られる 1 つのコードを有し、これらのコード素子 (1 0 , 1 0 0) は、1 つの絶対位置 (4) をその都度定義する多数のコード語を生成し；

- 1 つのコード語の一連のコード素子 (1 0) の中に、もう 1 つ別のコード語のコード素子 (1 0 0) が挿入されていることによって、多数のコード語が、互いに交差して配列されている、ゲージ及びこのゲージを走査する走査装置を有する位置測定装置において、

- 1 つのコード語のコード素子 (1 0) が、隣接するコード語のコード素子 (1 0 0) に対して反対の特性を有することを特徴とする位置測定装置。

【請求項 2】

各コード語は、M 個のコード素子 (1 0) から成り、一つのコード語の二つのコード素子 (1 0) の間に別のコード語の N 個のコード素子 (1 0 0) が挿入されていて、その際、N と M は自然数であり、かつ、 $0 < N < M$ であって、かつ、
前記一つのコード語のコード素子 (1 0) が挿入されたコード語のコード素子 (1 0 0) に対して反転していることを特徴とする請求項 1 に記載の位置測定装置。

【請求項 3】

走査装置 (2) は、コード素子 (1 0 , 1 0 0) を走査する M 個の検出要素 (2 . 1 , 2 . 2 , 2 . 3 , 2 . 4 , 2 . 5) を有し、1 つのコード語を生成するこれらの検出要素 (2 . 1 , 2 . 2 , 2 . 3 , 2 . 4 , 2 . 5) の相互間隔 (T) がそれぞれ、1 つのコード素子 (1 0 , 1 0 0) の幅 (B) の (N + 1) 倍であることを特徴とする請求項 2 に記載の位置測定装置。

【請求項 4】

M は 8 以上で、N は 1 であることを特徴とする請求項 2 又は 3 に記載の位置測定装置。

【請求項 5】

コード素子 (1 0 , 1 0 0) は磁極であり、検出素子 (2 . 1 , 2 . 1 , 2 . 3 , 2 . 4 , 2 . 5) はホール素子であることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の位置測定装置。

【請求項 6】

コードは、互いに交差する 2 列のコード語から成り、かつ、
 一方の列のコード語が、折返しコード (e i n e e i n s c h r i t t i g e n C o

d e) を形成し、この折返しコードは、1つのコード語のビット数の半分に相当する数字空間を有し、2番目の列のコード語が、この最初の列の反転したコード素子であり、この2列目のコード語は、1つのコード語のビット数のさらに半分に相当する数字空間を有することを特徴とする請求項1～5のいずれか1項に記載の位置測定装置。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0013

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0013】

表2中に示された一連のコードは、2列のコード語から成る。この場合、一方の列のコード語が折返しコードを生成する。しかしながら、この折返しコードは、ビット数の半分に相当する(5ビット:16コード語の)数字空間しか有さない。これらのコード語は異なり、かつこれらのコード語のうちの1つもその他のコード語のうちの1つに対して反転していない。

2列目のコード語は、1列目のコード語のコード素子を反転させることによって生成される。そして、この2列目のコード語は、ビット数のさらに半分に相当する数字空間を形成する。